

2016年(平成28年)8月2日(火曜日)

小見川中

カヌー女子3冠

諏訪さん、シングルスV

香取市立小見川中学校(久保木真一校長)のカヌー部の女子チームが、7月29、31日に山形県・月山湖で開かれたJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生大会(全中)のスプリント競技(500m)で、出場した3種目全てを制した。同校によると、女子では初の3冠達成だという。スプリント競技は、座った状態で艇に乗るカヤック

と、片膝を立てた状態で艇を操るカナディアンがある。女子チームが出場したカヤックは、シングル(1人乗り)とペア(2人乗り)、フォア(4人乗り)の3種目で着順を競う。シングルは出場4人全員が決勝進出。準決勝までのタイムが一番良かった諏訪智美さん(14)が2分22秒034で初の全国タイトルを獲得した。顧問の秋葉誠一

教諭(50)が「パワフルで、後半になってもスピードが落ちない」と評するタフな選手は「納得のレース展開だった」と話した。諏訪さんと主将の柳堀あいらさん(15)のペアは、2位以下に大差をつける2分11秒461で優勝。フォアには小学校からの同級生という高橋星菜さん(14)、高野真緒さん(14)が加わった。同じ4人で挑ん

全中で3冠を達成した香取市立小見川中カヌー部の女子チーム=1日



だ。高橋さんは「もっと良いタイムで勝ちたかった」、高野さんは「うれしいが、後半疲れもあってか伸びなかった」と浮かれた様子もなく語った。

小学校時代には全国優勝の経験がある柳堀さんは「(出場種目)全部で勝ちにいくと話していた」

と振り返り、「秋には高校生もエントリーする国体の少年女子に4人で出場する。納得のいくレースをして優勝したい」と意気込んだ。